

4, 2.10 (水)

大分合同(朝)

県内中小企業の情報化や適切なIT投資を後押しするNPO法人「大分IT経営推進センター」の理事長 **河野 憲裕さん**



「これだけ情報化が進めば地方でも十分にやっつけていけるIT(情報技術)投資を有効に使うことで生産性が飛躍的に向上する」。大企業に比べて人材・資金面で劣る中小企業のIT投資を支援し、地域経済を元気づけようと、県内金融機関やITコーディネーターなどが昨年十月に設立した。各種セミナーを通し、経営者にIT経営の意義や経営課題の存在に気付いてもらう。行政や金融、支援機関と連携して相談を受け、情

報化投資やITの活用を促す。「経済産業省が四月から運用を始める財務会計などのソフトウェア提供サービス『Saas(サーズ)』を使えば、効率的なIT投資が可能になる」

生産性の向上に寄与

一九六八年、通産省(当時)に採用された。日本貿易振興機構に向向して米国など三方国で八年間勤務。同省の情報システム課長、日米自動車交渉時の自動車部品産業企画官などを経て、四国経済産業局長を最後に二〇〇二年、退官。経産省出身の広瀬勝貞知事に誘われ、理事長に就いた。社団法人情報サービス産業協会の副会長も務める。「家が傾くぐらいの本がある」という読書家。現在は「数独に凝っており、中級に挑戦中」。自宅は横浜市にある。豊後高田市出身。六十四歳。